

## 地域が一体で取り組んだ新商品 専門家の指導で商品化



日持ちの問題が解決して商品化された花豆ぬれ甘なっとう。  
1箱4袋入り840円(税込)

### プチフレーズ(有限会社いちご)

観光客に魅力的商品を提供するのは観光地の事業者の責務。観光客向けの商品は食べ物であれば日持ちの長短が大きな要素になってくる。日持ちがしないために難しかった地元産の農産物を使ったお菓子の商品化を専門家を招いた技術講習会で解決。晴れて商品化にこぎ着ける。

### 生産者・販売者が一体で産品を開発

仙北市角館町は年間300万人の観光客が訪れる秋田県有数の一大観光地である。地元の多くの事業者がその市場規模を重視するのは当然のことであり、また、その観光客に角館ならではのサービスや物産を提供するのは、地元事業者の大きなテーマであるとも言えるだろう。

角館の菓子店「プチフレーズ」の佐々木正昭社長が会長を務める角館菓子工業組合では、観光客に自信を持って勧められるおみやげ用のお菓子として、地元産の花豆を素材とした商品づくりに取り組んだ。

花豆は仙北市の総合産業研究所が仙北地方の産地化を目指した品目。生産者を増やして収量を上げ、加工販売業者と連携してお菓子や料理に

使って消費を増やすという、いわば川上と川下を一体に考えた取り組みである。

### 技術的限界を専門家の指導で解決

市内の菓子業者16店が加盟する角館菓子工業組合では、現在、プチフレーズを含めた4店が商品化にこぎ着けている。花豆をお菓子にすること自体は技術的にさほど難しいことではないが、観光客にみやげとして買い求めてもらう商品としてはある程度の「日持ち」が必要になる。従来の製法では常温で2週間くらいが限度で、それがネックになっていた。

その打開策として、総合産業研究所の紹介であきた企業活性化センターの専門家派遣事業を利用し、食材の加工技術に詳しい専門家を招いて技術講習会を開いた。延べ3回の講習で、賞味期限を45日まで可能とする製法の指導を受け、これによって商品化の目処をつけられた。

### 高い評価で幸先の良いスタートに

プチフレーズでは、早速この製法で「花豆ぬれ甘なっとう」の商品化に着手。これが秋田県の主催する特産品開発コンクールで奨励賞を受賞し、それがきっかけで問合せも増えており、幸先の良い出だしとなった。

「日持ちの問題がクリアされなければ商品化は困難だっただけに、専

### プチフレーズ(有限会社いちご)

〒014-0371

秋田県仙北市角館町大風呂2番地

Tel. 0187-54-1997 Fax. 0187-54-2281

<http://www.kakunodate-puchi.com/>

E-mail kakunodate-puchi@swan.ocn.ne.jp

営業時間 9:00~20:00 年中無休



店舗外観。(写真上)

角館菓子工業組合の会長も務める佐々木正昭社長。

(写真中)

花豆ぬれ甘なっとうは第32回秋田県特産品開発コンクールで奨励賞を受賞した。(写真下)



花豆は少しずつ糖度を上げながら5日かけて煮ている。

門家派遣事業の活用は有効だった」と喜んでいる。